

[病名・検査・治療等]説明 同意書

患者氏名 _____ 殿 年齢 _____ 歳 性別 男・女 _____

1病名2検査・治療の内容3治療の目的と意義4治療の合併症5治療後の予定と注意6検査・治療にかかる費用 について以下の様に説明します。

【病名】大腸ポリープ【治療日】 _____ 年 _____ 月 _____ 日 予定【治療名】 内視鏡的大腸ポリープ切除術(大腸ポリペクトミー)

【治療の内容】 肛門より内視鏡を挿入し、別紙の図のようにしてポリープを切除します。

【治療の目的と意義】ポリープは全てが癌化するわけではありませんが、大きくなってくると一部に癌が混じる可能性が高くなってきます。癌そのもののポリープもあります。癌があっても粘膜内(大腸の内張の部分)にある場合は内視鏡でとりきれぬ場合が殆どです。

【治療の合併症】内視鏡を使うといっても手術の1種ですから、合併症の危険はあります。主な合併症は出血と穿孔(大腸に穴があくこと)で、穿孔の場合緊急の手術(開腹手術)が必要になることがあります(頻度は全国統計で3/1万くらい)。出血はもう少し頻度が高い(約0.5~1%)ですが、輸血を必要とするような出血は希(穿孔以下の頻度)です。経の小さいものでは(10mm以下)危険性はほとんどありません。

【治療後の予定と注意】ポリープを切除したあと病理検査(顕微鏡で細胞を調べる検査)を行って、ポリープに癌が混じているかどうか、癌が粘膜を越えているかどうか、リンパ管を侵しているかどうかを調べます。大体、1週間から10日かかります。癌があり、粘膜を越えてその外側に浸潤していた場合は追加の手術が必要になることがあります。

術後、2-3日で合併症の確率は低くなりますが、手術当日は絶食(水分は可)としていただき、翌日は消化の良いもの(お粥・うどん等)から始め、徐々に食事量を増やすようにしてください。刺激物(辛いもの・脂っこいもの)は2-3日避けてください。術後10日前後は出血を防ぐため、アルコール、激しい運動、長湯(要するに血行が良くなるようなことです)などは避けてください。また、抗血小板薬(アスピリン等)・抗凝固薬(ワーファリン等)などの出血を助長するようなお薬は、術前一週間、術後一週間は中止してください。

【検査・治療にかかる費用】ポリープがある場合とない場合では、費用が大きく異なります。また、細かい検査の組み合わせで違いがあります。大腸ポリペクトミーは、手術の扱いになります。お支払いは、現金のみでお願いします。(1割負担 検査のみ約2,200円~6,200円 治療あり約6,600円~8,500円程度・3割負担 検査のみ約6,500円~18,500円 治療あり約19,700円~25,000円程度)料金は目安となります。

平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日

説明医 **TKクリニック** 加藤 徹哉

上記説明を受け治療に納得いたしましたので同意いたします。

患者氏名 _____ 印

保証人 _____ 印 (患者との続柄 _____)